

## 骨格異常

Code	Skeletal Anomaly 骨格異常	定 義
Basic Terms 基礎用語		
Abnormal Arrangement	異常配列 いじょうはいれつ	胸骨、椎骨などの配列が乱れていること。
Abnormal Extension	異常延長 いじょうえんちよう	骨が正常範囲を越えて延長した状態。
Absence 【Absent】 【Missing】	欠損、欠如 けっそん、けつじょ	先天的に骨組織が欠如している状態。
【Accessory】	過剰 かじよう	骨（骨化核）が過剰に形成された状態。
Agenesis	無発生 むはっせい	発生の過程で骨組織の原基が最初から形成されない状態。
Aplasia	無形成 むけいせい	発生の過程で骨組織の原基が形成されても、その後の発育が止まり原始の状態にとどまっているもの。
Asymmetry 【Asymmetric, Asymmetrical】	非相称《対称》「性」 ひそうしょう《たいしょう》 「せい」	骨形、大きさ、位置が左右対称でないこと。
【Bent】	弯曲 わんきょく	骨がわずかに曲がった状態。
【Bifid】	二分の にぶんの	骨が二つに分かれていることを意味する。
Bifurcation 【Bifurcated】	分岐 ぶんき	椎弓、肋骨などにみられる骨の枝分かれ。
Bifurcated Proximal	近位の分岐 きんいのぶんき	骨の基部が枝分かれしている状態。
Bifurcated Distal	遠位の分岐 えんいのぶんき	骨の末端部が枝分かれしている状態。
【Bilateral】	両側の りょうそくの	左右対になっている骨の両方を表す語。

【Bipartite】	分割、二分の ぶんかつ、にぶんの	一つの骨化核が二つに分かれて 見られる状態。
【Cleaved】	分割、二分の ぶんかつ、にぶんの	一つの骨化核が二つに分かれて 見られる状態。
Curvature	弯曲 わんきょく	骨のゆるやかな曲がり。
Deformity	変形 へんけい	骨（骨化核）固有の形状が変化 した状態。
Delayed 《Incomplete, Retarded》 Ossification	骨化遅延 こつかちえん	骨化の進行が遅れて正常な化骨 段階に比較して不完全な状態。
Displacement 【Displaced】	位置異常 いちいじょう	骨（骨化核）が正常位置から逸 脱した状態。
Doubling 【Duplicated】	重複 じゅうふく	一つしかない骨が二つある状態。
Dumbbell Shape	亜鈴《ダンベル》型 あれい《ダンベル》がた	一つの骨化核が狭い峽を作って くびれた状態。
Dysplasia	異形成、形成異常、形成不全 いけいせい、けいせいいじょう けいせいふぜん	骨（骨化核）の容積が通常より 小さい状態。 〔先天的にある器官・組織の発 育が悪い状態〕
Enlargement	肥大 ひだい	骨（骨化核）が大きい（太い、 幅が広い）状態。
Excess	過剰 かじょう	骨（骨化核）が過剰に形成され た状態。
Extra	過剰、過剰の かじょう、かじょうの	骨（骨化核）が過剰に形成され た状態。
Fusion 【Fused】	癒合 ゆごう	骨（骨化核）が他の骨（骨化核） と関節を形成せずに結合した状 態。
Fused Proximal	近位の癒合 きんいのゆごう	基部で骨が癒合した状態。
Fusion Central	中部の癒合 ちゅうぶのゆごう	中部で骨が癒合した状態。
Fused Distal	遠位の癒合 えんいのゆごう	末端部で骨が癒合した状態。

Complete Fusion	完全癒合 かんぜんゆごう	骨全体が癒合した状態。
Hyperplasia	過形成 かけいせい	骨（骨化核）の容積が通常より大きい状態。 〔ある組織の構成成分の数が増え組織が容積を増す状態〕
Hypoplasia 〔Hypoplastic〕	低《減》形成 てい《げん》けいせい	骨（骨化核）の容積が通常より小さい状態。 〔先天的にある器官・組織の発育が悪い状態〕
Irregular Alignment	異常配列 いじょうはいれつ	胸骨、椎骨などの配列が乱れていること。
Malposition	位置異常 いちいじょう	骨（骨化核）が正常位置から逸脱した状態。
〔Missing〕	欠損、欠如 けっそん、けつじょ	先天的に骨組織が欠如している状態。
Nodulation 〔Nodulated〕	結節形成 けっせつけいせい	骨に節状の膨らみが形成された状態。
〔Not Ossified〕 〔Unossified〕	未骨化 みこつか	骨化が起こらず、構造が軟骨あるいは膜質として存在する状態。
〔Postaxial〕	軸後「性」 じくご「せい」	体肢軸の尾方に位置する体肢芽の部分についていう。
〔Preaxial〕	軸前「性」 じくぜん「せい」	体肢軸の頭方に位置する体肢芽の部分についていう。
Rudiment 〔Rudimentary〕	痕跡 こんせき	骨の形成が悪く極めて小さい状態。
Shortening 〔Shortened, Short〕	短縮 たんしゅく	骨の長軸が短くなった状態。
Skeletal Variation	骨格変異 こつかくへんい	骨格にみられる正常範囲の発生の歪で、通常異常とはみなされない。
Splitting 〔Split〕	分割、二分の、分離 ぶんかつ、にぶんの、ぶんり	一つの骨化核が二つに分かれて見られる状態。
〔Supernumerary〕	過剰 かじょう	骨（骨化核）が過剰に形成された状態。

Thickening 【Thickened】 【Unilateral】	厚い あつい 片側の へんそくの	骨の一方の表面から反対側の表面までの幅が増加した状態。 左右対になっている骨の一方を表す語。
Unossification 【Unossified】 【Not Ossified】	未骨化 みこつか	骨化が起こらず、構造が軟骨あるいは膜質として存在する状態。
【Unstained】	不染色 ふせんしょく	アリザリン赤あるいはアルシアン青によって骨（骨化核）あるいは軟骨が染色されない状態。

---



---

Vertebrae 椎骨

---



---

Accessory 《Extra》 Vertebra	過剰椎骨 かじょうついこつ	椎骨数の増加。
Hemivertebrae	半椎 はんつい	椎骨の片側しか存在しない状態。
Kyphosis	「脊柱」後弯 「せきちゅう」こうわん	脊柱が正中面において背側方向へ凸弯曲した状態。
Kyphoscoliosis	「脊柱」後側弯 「せきちゅう」こうそくわん	脊柱の正中面における背側方向への凸弯曲と脊柱の水平面における側方への弯曲が結合した状態。
Lordosis	「脊柱」前弯 「せきちゅう」ぜんわん	脊柱が正中面において腹側方向へ凸弯曲した状態。
Lordoscoliosis	「脊柱」前側弯 症 「せきちゅう」ぜんそくわんしょう	脊柱の正中面における腹側方向への凸弯曲と脊柱の水平面における側方への弯曲が結合した状態。
Lumbarization	腰椎化 ようついが	第1仙椎の横突起が腰椎の横突起の形状を示す状態。
Opening of the Transverse Foramen of the 7th Cervical Vertebral Arches	第7頸椎弓の横突孔開口 だいななけいついきゅうのおうとっこうかいこう	ラットの第7頸椎弓に見られる完全または不完全な横突孔の存在（通常ラットの第7頸椎弓には横突孔は存在しない）。
Sacralization	仙椎化 せんついが	最終腰椎の横突起が仙椎横突起の形態を示した状態。

Scoliosis	「脊柱」側弯 「せきちゅう」そくわん	脊柱が水平面において側方に弯曲した状態。
Shift of the Lumbosacral Vertebral Border	腰仙椎境界の移動 ようせんついきょうかいのいどう	最終腰椎弓が第1仙椎弓の位置に整列した状態。

---



---

Ribs 肋骨

---

Cervical Rib	頸肋 けいろく	頸椎にみられる短い肋骨。
Extra Rib	過剰肋骨 かじょうろっこつ	比較的長い腰肋。
Lumbar Rib	腰肋 ようろく	腰椎に見られる短い肋骨で骨格変異の一つ。
Rudimentary Rib	痕跡状過剰肋骨 こんせきじょうかじょうろっこつ	痕跡状の腰肋。
Wavy Rib	波状肋骨 はじょうろっこつ	波状に曲がっている肋骨。

---



---

胸骨

---

Hemisternbrae	半胸骨分節 はんきょうこつぶんせつ	胸骨の片側しか存在しない状態。
---------------	----------------------	-----------------